



横田小だより

令和6年 1月24日 発行
高岡市立横田小学校



横田小HP

研 精 魂

- ・誠実なれ
- ・親切なれ
- ・勇気を起こせ

★能登半島地震から

- ・「能登で地震がありました。全てを失ってしまうような気がして泣いてしまいました。(略)一年の最初の日にあの音を聞くことになるとは思いませんでした。能登の朝市の全焼、いまだに続く断水や避難所生活。助けがほしい方が沢山おられるので、そのことを忘れず意識しながら過ごしたいと思います」
- ・「私は能登の所が心配です。のとじま水族館のお魚も大丈夫かなあ。私は地震でお腹が痛くなりました。地震でお風呂の色がいつもと違いました」
- ・「僕は大人になったら消防士になってみんなを助けるよ」
- ・「富山に地震なんてこないと思って油断していた。人間の慣れって怖いものだなあ」
- ・「近所では道路に亀裂が入ったり、マンホールが上がったりしていつも通りに暮らせるか心配だった。何か私にもできることがないか気になっている」



【地震後に作文を書く子供たち】

能登半島地震後の子供たちの作文です。不安を抱えながらも被災された方々に心を寄せて頑張ろう、心を落ち着かせて日常を取り戻そう、自分にできることは何かを考え続けていこうとする子供たちの素直で前向きな気持ちに元気が湧いてきます。



★被災された方々に思いを寄せて・・・



【黙祷する子供たち】

横田小の子供たちは、保護者や地域の皆様のご協力により、無事に3学期のスタートを迎えることができました。心より感謝申し上げます。始業式では、最初に全校で黙祷を捧げました。TVや新聞等で伝えられる想像を絶する被害に接するたびに心が痛みます。県内はもちろん、市内や校区の被災された地域、そして能登半島全体が一日も早く復興できるようお祈り申し上げます。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。多くの子供たちが、安心・安全な学校で授業を受けられることを切に願うばかりです。

その中で、しっ子たちが安全に登校でき、始業式を体育館で全校揃って行うことができ、子供たちの元気な声が校内に響き渡り、笑顔を見ることができたことについて、これまでの「当たり前」に対する感謝の気持ちが強くなりました。子供たちの笑顔は、周りを幸せにしてくれますし、希望と勇気を与えてくれます。私たちも一日一日を大切に、子供たちの不安を和らげ、引き続き安心して教育活動を進めることができるよう、全力で努めてまいります。

★余震に備えて避難方法の確認を行いました

今後の余震を想定して、身を守るための安全な避難方法を確認しました。この時期は防寒着などが必要です。お互いに声をかけ合い、焦らず冷静に行動することが安全につながります。



【余震に備えた避難】

★横田小体育館 避難所開設



【避難所での水の配布】

「毛布をたくさん配布していただいたこと、昆布のおにぎりが美味しかったこと、大きなストーブが暖かかったことに感謝！」「とても不安だったけれど、みんなで助け合うことができるととても安心しました」と、体育館で一夜を過ごされた地域の方々より心温まるメッセージをいただきました。地域の皆様、保護者、市職員、防災士など、横田校区の皆様との連携とご協力のおかげです。改めて横田校区の結束力の強さを感じました。今後、発災時における自助・共

助の重要性を再認識し、今回の避難所開設の成果と課題を洗い出し、学校、地域、行政が一層連携を図りながら地域の安全対策につなげていきたいと思ひます。

★登下校の安全見守り強化

3学期の始業式を迎えるにあたり、研精パトロール隊、交通安全協会の方々、そして地域の皆様や保護者の皆様による登下校の安全見守り、誠にありがとうございました。通学路の点検においてもお力添えを賜り、心より感謝申し上げます。通学路についてお気付きの点がございましたら、どうぞお気軽にお知らせください。今後も引き続き、安全な通学環境の確保に向けてご協力いただけますよう、何かご意見やご提案がございましたらお知らせいただければ幸いです。



【通学路安全見守り強化】

★「みんなで楽しいひとときを・・・」～子供たちの力で日常を少しずつ取り戻しています～



【全校に呼びかけてみんなでダンス】

地震後、4年生が「マイムマイムをみんなで踊ろう！！」と全校に呼びかけました。5月の運動会でのダンスの感動が蘇ってきます。手をつないで輪になって、みんな笑顔で心もつながり、楽しいひとときを過ごすことで、しっ子たちの絆が一層深まったようです。「みんなできると安心」「みんなで声をかけ合うと楽しいな」と、子供たちの言葉がその絆を象徴しています。彼らの力で、少しずつですが、日常を取り戻していく様子が感動的です。



★統合に向けて



統合まであと2か月あまりとなりました。6年生の登校回数はあと38回です。一日一日を大切に、充実した教育活動に努め、夢と希望のある統合に向かって邁進したいと考えております。

現在、統合3小学校では、閉校式や開校式の準備、引っ越し作業の段取り、通学路の最終点検や閉校記念誌の編集など、統合に向けた作業を進めております。引っ越し作業は、2月と3月の2回に分けて行います。指定業者が引っ越しを行いますので、子供たちの学習への影響はありません。通常どおり授業を行います。

そして、高岡西部小学校の新しい「校歌」の練習も始めています。また、2月9日の授業参観後に体育館にて学校説明会を開催いたします。その際、新小学校の概要などをお伝えいたします。地域の皆様には、学校だよりやホームページなどを通じて随時お知らせしてまいります。今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【裏面あり】



学校給食週間が始まりました！

給食主任 高梨 純子

1月24日（水）～30日（火）は「学校給食週間」です。給食委員会は、給食週間最終日の1月30日（火）に「給食オリエンテーリング」を企画し、給食週間を盛り上げます。

「栄養士さん、調理員さんに感謝の気持ちを届けたい！」「横田小学校最後にちなんだことをやろう！」「富山県の食材クイズをしよう！」など、いろいろなアイデアを出しながら準備してきました。

元日に大きな地震がありました。幸い給食室への被害はなく毎日給食を食べることができています。子供たちは、ニュース等を通して、様々な事情がある子供たちの実情も知っており、給食が当たり前ではないことだと感じています。こんな中だからこそ、給食週間を通して、温かく美味しい給食を食べることができることへのありがたさ、携わる人々への感謝、富山県の食材への関心をもつ心を育てていきたいと思えます。

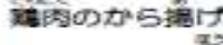
れい わ ねん ど がっこうきゅうしょくしゅうかん こんだて
令和5年度 学校給食週間のテーマと献立
と やま しょくたんけん
「富山ふるさと食探検」 

たてやまれんぼう と やまわん ひょうこうさ
～立山連峰から富山湾までの標高差4000メートルの、
しぜん めぐ あじ
自然の恵みを味わおう～

29日（月）
いみすし ひみし
射水市・氷見市
まごはん 牛乳
ひみっこカレー
鮭フライ
稲穂の梅ドレッシング
サラダ



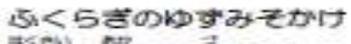
26日（金）
たかのりし
高岡市
たかのりぱん 牛乳
鶏肉のから揚げ
風巻模風
二上山サラダ
かぶの豆乳スープ



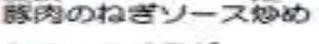
24日（水）
なかにいかわし たまのかわし
中新川郡・滑川市
ごはん 牛乳
ほたるいかのから揚げ
新川やちやらあえ
のっぺい汁
ラ・フランスゼリー



25日（木）
なななし なんとし せやべし
砺波市・南砺市・小矢部市
ごはん 牛乳
ふくらぎのゆずみそかけ
白菜の赤かぶ漬け
いとこ煮



30日（火）
うおづし くらべし
魚津市・黒部市
食パン 牛乳
豚肉のねぎソース炒め
トロッコサラダ
ミラージュスープ
襦袢のタルト



1月のトピックス

山本 詩歩

思いを筆に込めて取り組んだ校内書初め大会

1月10日に、1・2年生は各教室、3～6年生は体育館で、校内書初め大会を行いました。いつもは子供たちの元気な声が響く校内が、心地よい緊張感に包まれ、子供たちが集中していることが伝わってきました。先生の話聞いた後、新年の決意や抱負を心に浮かべ、その思いを筆に込めて、一文字ずつ丁寧に書き上げていました。どの子も練習の成果を発揮して、素晴らしい作品を仕上げることができました。



冬の自然に親しみながら楽しんだスキー学習

1月19日に、5・6年生はタカンボースキー場でスキー学習を行いました。子供たちは指導してくださる先生の話をしっかり聞き、友達と声をかけ合いながら練習をすることで、どんどんと上達していきました。そして、参加した子供たち全員がリフトに乗ることができました。さすがしっ子です。最後には「楽しかった」「またスキーをしたい」という言葉が多く聞かれました。冬の自然に親しみながら、スキーの楽しさを味わうことができた実りある一日になりました。

